

公務員教養 I

科目ナンバリング CAE-213
選択 2単位

川下 裕史

1. 授業の概要(ねらい)

親和力: 協働力: 統率力: 感情制御力:○ 自信創出力:△
行動持続力:○ 課題発見力:◎ 計画立案力:○ 実践力:◎ 創造力:

この授業は「資格の大原」との提携講義となっており「公務員試験」対策に必要な教養試験、特に一般知能問題の基本的理解・習得を目的とします。また筆記試験だけではなく、論作文や面接試験対策も織り込みます。一生の仕事を選択していくという作業は、大学生が直面する最大の課題だと思います。皆さんが、採用担当者に採用したいと思われるような力を身に付けることができる授業内容としていきます。公務員を本格的に学ぶ前の準備として、秋期の公務員教養Ⅱと併せて履修することをお勧めします。

2. 授業の到達目標

「公務員試験」に必要な知識の導入部分としての基礎知識の定着を目指し、「公務員課外講座」に繋げていくことを視野に入れる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(50%)、定期試験(50%)の総合で評価します。

平常点は、毎回授業内で実施する小テストを反映するものであり、出席だけで評価する出席点ではありません。

※定期試験の受験は必須です。小テストは授業内で複数回実施していきます。

※授業の中で外部評価テストを実施する可能性があります。実施した場合には成績評価の参考にします。

4. 教科書・参考文献

教科書

『公務員教養 I』(大原出版)

※テキスト販売日は、講義初日に案内します。

5. 準備学修の内容

・毎回の講義の復習を必ず行って、次回の講義に臨んでください。

・就職活動を迎えるにあたって教養を高めることは非常に重要なことです。時事に関心を持ち、日頃から新聞・ニュースを積極的に見るようにして下さい。

6. その他履修上の注意事項

上記のように、この授業は公務員試験対策を考慮して組まれているものですから、単位取得のためではなく、就職ということを強く意識した上で、十分に活用されることを期待します。

※キャリアサポートセンター主催の「公務員ガイダンス」および公務員関連セミナーには、積極的に出席してください(授業時に案内します)。

※課外講座の公務員講座へお申込みすることをお勧めします。

みなさん一人ひとりの基礎力向上を図るために、以下のことを守って授業に参加してください。

①入室可能時間は授業開始後10分までとします。(やむを得ず遅刻になった場合は、理由を報告してください。また静かに入室してください。)

②授業運営に支障をきたす行為はやめてください。私語や飲食は禁止です。スマートフォンはしまい、授業に集中してください。また特別な理由がない限り、帽子を脱いで授業を受けて下さい。

③この科目は就職試験対策の基礎力向上を目的とした授業です。関連科目として「キャリアデザインと職業選択」などの自己啓発支援(キャリア教育)科目を積極的に履修してください。

④授業の開始と終了時に、学生証をカードリーダーにタッチしてください。学生証忘れやタッチ忘れは欠席扱いになりますので、忘れないようにして下さい。また小テストは集中して取り組み、授業終了後に提出して下さい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション(授業・就職ガイダンス)
【空間把握】1章 折り紙・回転の軌跡 |
| 【第2回】 | 【空間把握】2章 展開図 |
| 【第3回】 | 【空間把握】3章 平面図形の構成・サイコロ |
| 【第4回】 | 【空間把握】4章 立体の切断・回転体・一筆書き |
| 【第5回】 | 【基礎数学 I】5章 式の計算 I 指数・平方根 |
| 【第6回】 | 【基礎数学 I】6章 式の計算 II 組合せ |
| 【第7回】 | 【基礎数学 I】7章 式の計算 III 式の変形 / 中間テスト |
| 【第8回】 | 【基礎数学 I】8章 方程式 |
| 【第9回】 | 【図形】9章 相似比 |
| 【第10回】 | 【図形】10章 面積比 |
| 【第11回】 | 【図形】11章 角度 |
| 【第12回】 | 【図形】12章 円の性質 |
| 【第13回】 | 【図形】13章 立体図形の計量 |
| 【第14回】 | 就職論作文対策(応用編) |
| 【第15回】 | 就職面接対策(応用編) |